

施策評価調書(3年度実績)

				施策コード	Ⅱ-2-(2)			
政策体系	施策名	商業の活性化とサービス産業の革新	所管部局名	商工観光労働部			長期総合計画頁	87
	政策名	活力と変革を創出する産業の振興	関係部局名	商工観光労働部				

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②
取組項目	多様化するニーズに対応した 商業・サービス業の振興	県産品の販路開拓・拡大による 物産振興

【Ⅱ. 目標指標】

	指 標	関連する 取組No.	基準値		3年度			6年度	目標達成度(%)											
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125							
i	県の施策により1人当たり労働生産性が前年度比2%以上向上したサービス産業関連企業数(社)	①	H25、26 平均	30	51	49	96.1%	60												
ii	サービス産業の労働生産性(万円/人)	①	H23	309	365 (H27)	365 (H27)	100.0%	393 (R2)												

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等		平均評価
i	概ね 達成	販路開拓やトレンドを捉えた新商品の開発、業務効率化等、生産性の向上につながる取り組みを積極的に支援したことにより、目標値を概ね達成した。	達成
ii	達成	観光関連産業を対象とした人材育成や補助支援及び県産品の商談会やフェアの開催により、生産性向上を図ったことで、目標値を達成した。 なお、サービス産業の労働生産性は、国が5年に1度行う経済センサスに基づく指標であり、R3年度の実績値は直近のH27年度実績の数値を記載している。	

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急事態宣言により消費が落ち込む飲食店を応援する取り組みに対して支援を強化した。 ・サービス産業に新しい生活様式を普及・定着させるため、Webを活用した飲食店の感染症対策等の自己診断の支援や個店の魅力や強みの「見える化」を図った。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食店や観光関連産業での需要が減少した県産品の販路を確保するため、EC(エレクトリックコマース)を活用した販売促進を強化した。 ・商談機会確保のため、ターゲット別マッチング商談会やオンライン商談会を開催した他、百貨店等での大分フェアへの出展支援等により、取引機会と商品改良に向けた意見を得る機会を創出することで、県内メーカーのレベルアップを図った。 ・フラッグショップ(坐来大分)を活用した出張販売や、リモート等を活用した県産品のPRIにより、県外の認知度向上の取り組みを推進した。 ・越境ECやオンライン商談会を活用したファーストステップ支援を実施し、海外販路開拓を促進した。また留学生と協働した試飲・試食マーケティングや海外サポート補助金を利用し、事業者の海外展開準備を支援した。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(3年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	地域商業・まちづくり推進事業	35.8	212
②	県産品販路開拓支援事業	84.6	213
	フラッグショップ活用推進事業	43.1	214
	県産加工食品海外展開サポート事業	120.0	214
	県産品EC販売拡大支援事業	186.4	214

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○第5回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(R3.10)</p> <p>・コロナで飲食店が閉店し、昼食時など時間帯によっては客が集中して、接客機会が失われている。シーズンではない時期の魅力磨きも応援してほしい。</p>	
---	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス産業の労働生産性の向上に向けては、経営支援システムの試験導入に取り組みその効果を検証するとともに、Webを活用した個店の情報発信力強化を支援する。 ・物産振興では、引き続き事業者のECへの新規参入や運営を支援するほか、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を徹底しつつ、百貨店やスーパーと連携した「大分フェア」の開催や、大都市圏バイヤーと県内メーカーとの商談機会の創出に取り組む。海外における販路開拓についても、ジェトロ大分など関係機関との更なる連携強化を図り、未輸出事業者に対するファーストステップ支援を重点的に取り組む。 ・フラッグショップ(坐来大分)の活用では、新店舗の移転を機に、新たな魅力発信イベントの開催や、おんせん県おおいた応援店と連携した県産品の販路拡大など、大分の魅力の更なる情報発信に努める。